

7月の全校朝礼

7月3日（火）朝礼で、3つのことを話しました。

まず、大阪の地震では、ブロック塀が倒れて小学生が亡くなりましたが、今日、登校班のことで、地域の方から「駐車場の鎖を触っていく子供たちがいるが、けがをしないか心配」とお話しされました。登下校の途中に駐車場の鎖や塀などを触りながら歩くのは、やめましょう。

次に、先生は、玄関に行くときとてもいいなと思うことがあります。

それは、下駄箱に靴がきれいにそろって入っているということです。特に6年生は、さすが学校の代表らしくきれいです。また、校庭を毎日歩いて1周するのですが、とてもゴミが少なく、きれいです。壁や机についても傷つけたり落書きをしたりしないできれいなままにしましょう。

さて、もう一つのお話です。先生は、この前の土曜日に、宮本延春（まさはる）さんという方に会って話を伺いました。3年生以上のみなさんは、九九をいえますよね。この方は、23才になるまで、2の段が満足にいえませんでした。そうなった原因は、いじめでした。クラスのいじめっ子から、授業中、宮本さんが答えると「宮本のくせに」といって、いじめられたのだそうです。そのため、勉強はやる気が起きず、中学生になったときには、成績がオール1だったというのです。いじめが、宮本さんの人生を変えてしまったのです。そのため、宮本さんは、高校へは行かずに大工になったのです。その後、お母さんも、お父さんも死んでしまい、たった一人の生活になりました。その生活は、1ヶ月に13円で生活したこともあったそうです。食べるものもなく、その時は、道ばたのタンポポやアリを食べていたのだそうです。ところが、23才のある日、NHKテレビで見た、天才科学者のアインシュタインロマンという番組に興味を持ち、大学へ行って勉強がしたいと思ったのです。しかし、そのとき、宮本さんは、九九の2の段までしかいえない状態でした。2年生と同じぐらいということです。どうしたと思います。小学校3年生のドリル・九九のマスターから勉強を始めたのです。猛勉強をして、高校へ進学し、名古屋大学の理学部に合格、大学院へ進み、高校の教師となったのです。宮本さんとお話をしましたが、とても生き生きしていました。

どうして、宮本さんは、大学に合格し、先生になれたと思いますか。

そう、目標が持てたからです。アインシュタインに興味を持ち、もっと知りたいと思ったからです。

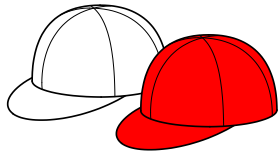
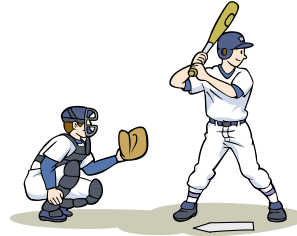
みなさんは、目標はありますか。将来の夢でもいいですし、小さな目標でかまいません。例えば、今朝、負けてしまいましたが、サッカー選手になりたいとか、野球選手、ケーキ屋さんになりたいという将来の夢。また、1日1回は、授業中に答える。漢字を10ページ書く。あいさつを10人する。なんていうのもかまいません。

ぜひ、目標を持って、毎日、進んで勉強や運動をがんばってください。



校長室表彰

7月2日（月）昼休みに全校表彰の対象以外の表彰を校長室で行いました。



熱中症対策のお願い

梅雨がずいぶん早く明け、暑い日が続いておりますが、熱中症が心配されます。そこで、いくつかお願いがあります。まず、登校時には、必ず、帽子をかぶるようにお話してください。学校でも休み時間や体育の際には、必ず、かぶるように指導しています。また、水筒については、毎日、中まできれいに洗って持たせてください。

なお、前日の寝不足など、体調が万全でないと登校途中ですでに具合が悪くなることも考えられます。睡眠不足やエアコンのかけ過ぎによる風邪など、体調不良は熱中症の原因となります。ご家庭でも注意をお願いします。